

修了者の就職先に対するアンケート 集計結果

I. 調査概要

(1) 調査実施機関

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学及び東京商工リサーチ金沢支店・本社市場調査部

(2) 調査期間

令和5年9月4日～令和6年1月9日

(3) 調査目的

北陸先端科学技術大学院大学修了者の就職先に対して、大学の教育システム及び修了者の評価等に関する意見を聴取し、教育効果を検証するため。

(4) 調査方法

郵送調査

(5) 調査対象及び調査対象者

北陸先端科学技術大学院大学修了者の就職先企業の在勤者

(6) 有効回答件数

配付件数	郵送回答数	コール回答数	回答数合計	回答率
193 件	50 件	17 件	67 件	34.7%

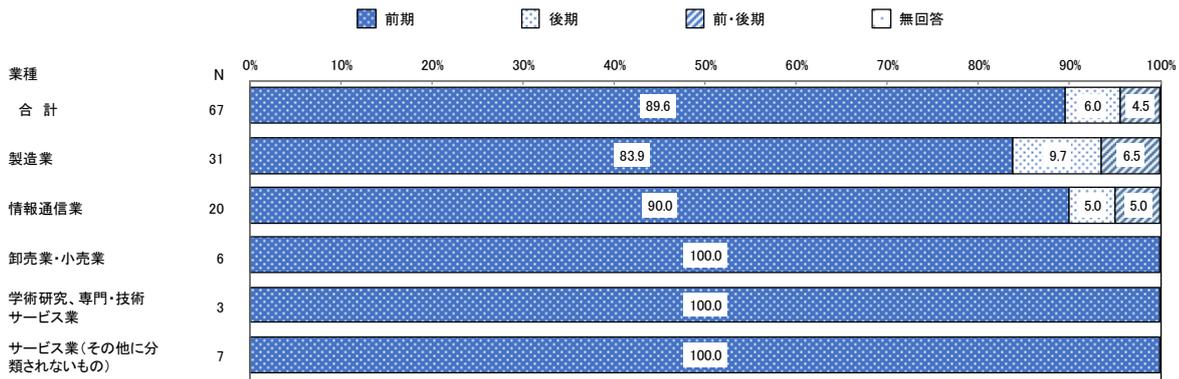
(7) 調査結果の読み方及び注意事項

○図表中の構成比率は、小数点第2位を四捨五入している。

○複数回答の設問は、回答が2つ以上あり得るため、合計は100%を超えることもある。

○図表中の「N」とは回答件数の総数のことで、100%が何件の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

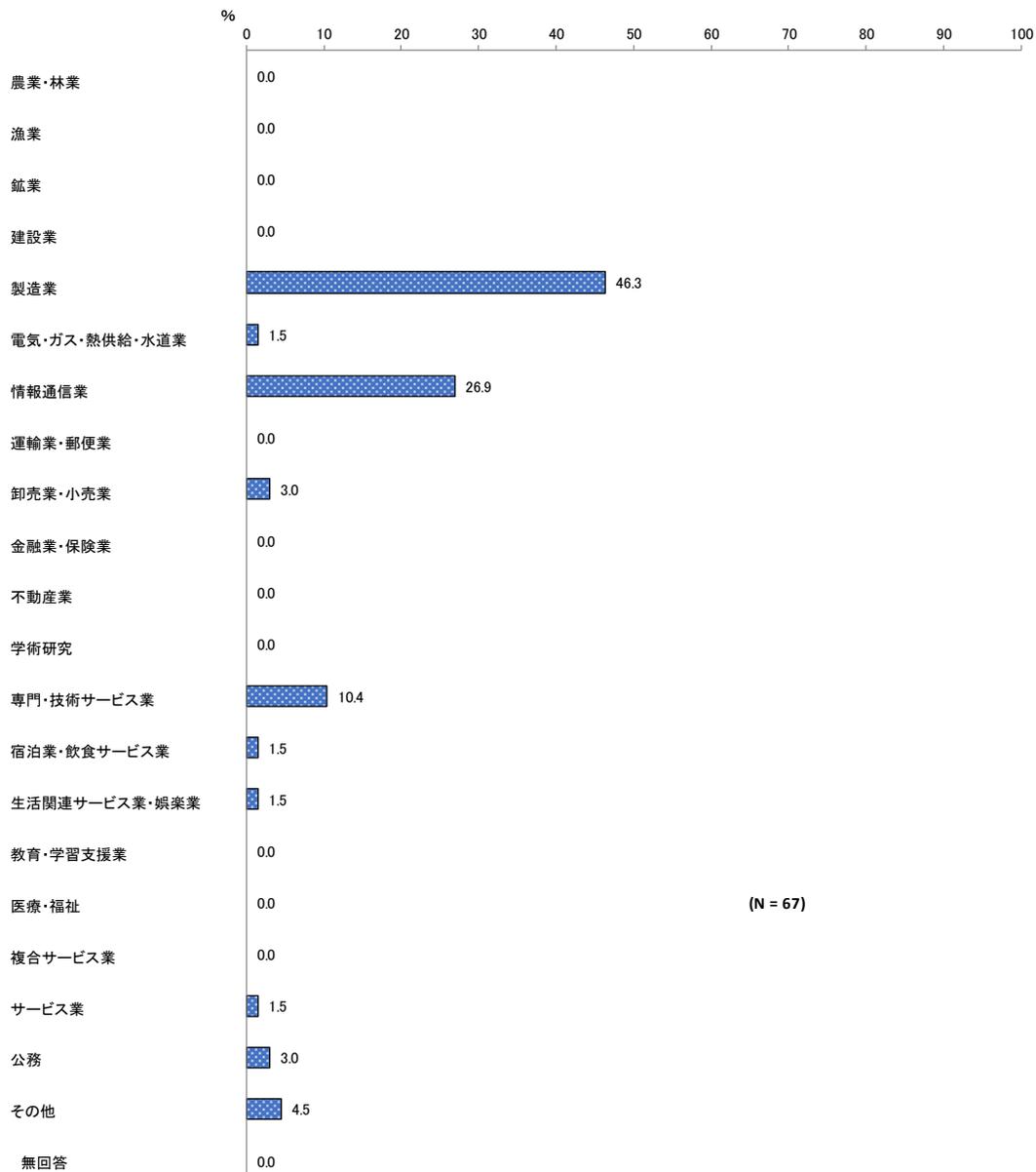
II. 回答者の属性



III. 調査結果

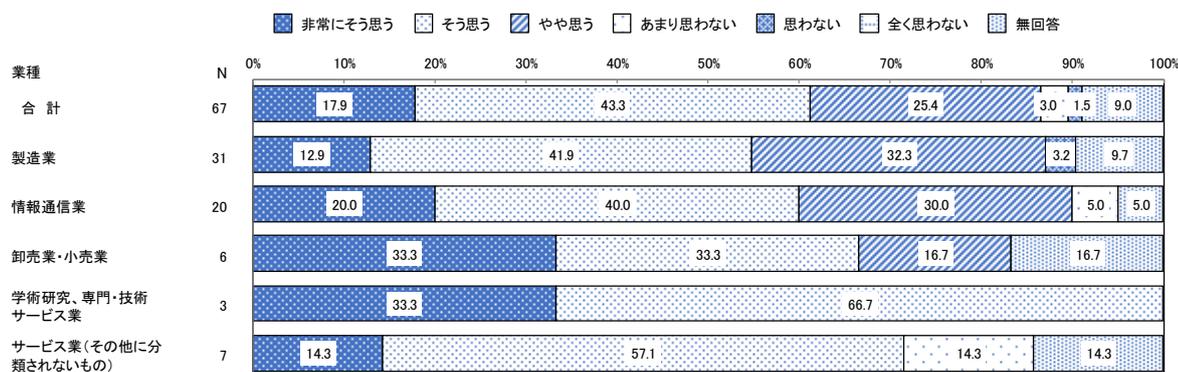
基本的な事項について

1. 貴社の業種について、該当するものにレ点を付けてください。(最も当てはまるもの一つ)。

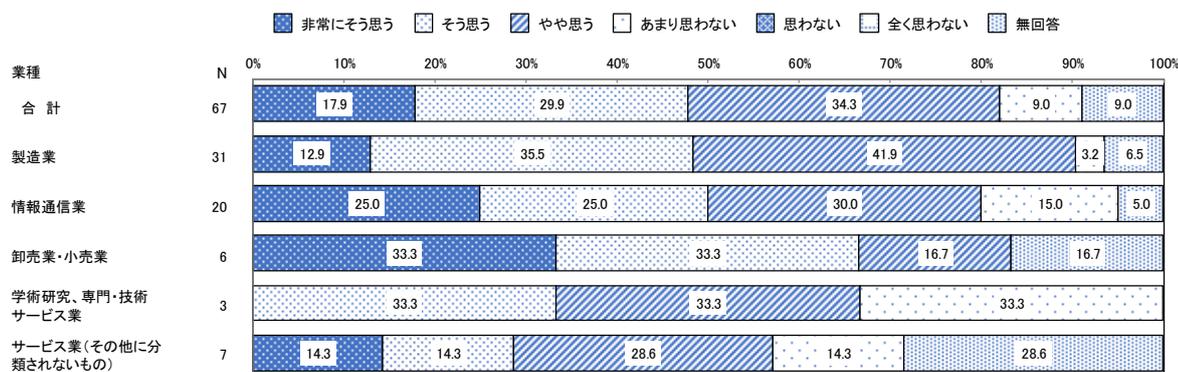


教育方法・制度について

2. 北陸先端科学技術大学院大学では、学生と指導教員が相談しながら作成する「学修計画・記録書」を基に体系的な科目履修を行う取組や、主テーマの研究を開始するにあたり入学後1年以内に研究計画提案書（プロポーザル）の提出を学生に義務付け、計画的に研究活動を進める取組を実施しています。本学修了者の貴社内における企画・計画・報告等の行動から見て、自発的に目標管理を行うこの取組の教育効果が現れていると思いますか。

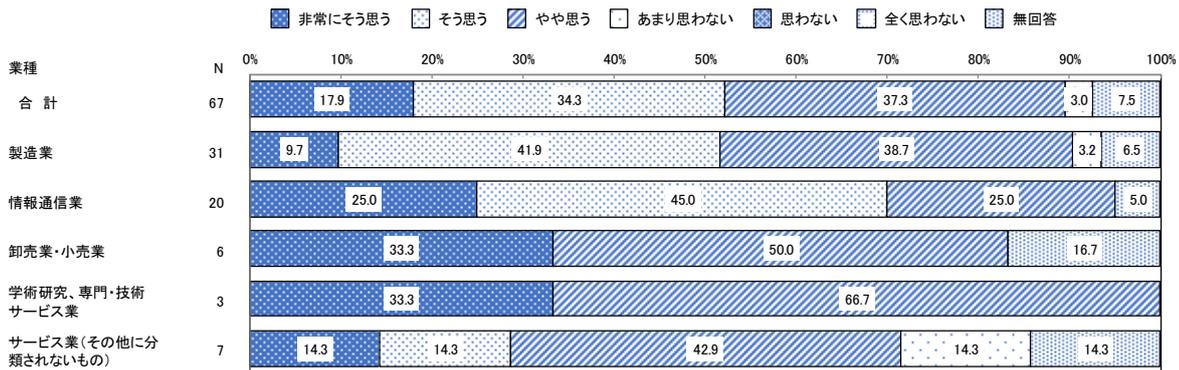


3. 本学では、高い留学生比率（石川キャンパスにおける留学生比率 51.2% 令和5年5月現在）のもと、様々な国籍と文化背景を持つ学生が互いに刺激を与えながら切磋琢磨しています。また、国内外の研究機関等に研究指導を委託する制度を実施しています。そのような環境で学んだ修了者に、異なる意見や環境をマネジメントする力が身に付いていると思いますか。



4. 本学では、入学時に全員を各研究室に無作為に配属する導入配属（仮配属）制度や、学生1人に対して3人の教員が指導にあたる複数教員指導制（※）をとっています。また、広い分野の科目の履修を義務付け、主テーマの研究（修士論文研究）以外にも主テーマ研究とは異なる「副テーマ」研究を課す等、幅広い専門知識の修得や専門外の課題に対しても柔軟な考え方で取り組むことができるようになることを目指しています。そのような環境で学んだ修了者に、この教育効果が現れていると思いますか。

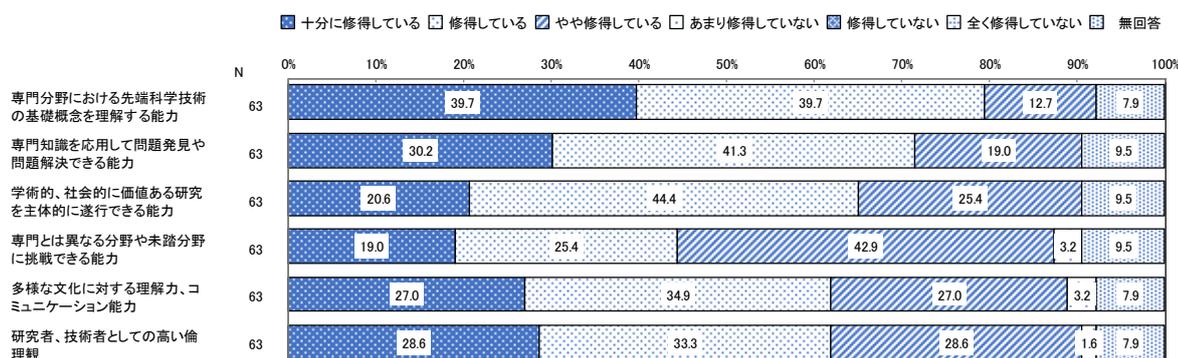
※複数教員指導制：主指導教員、副指導教員、副テーマ指導教員（又はインターンシップ指導教員）の3人が、学修段階に応じて様々な課題や立場から教育研究指導する制度。



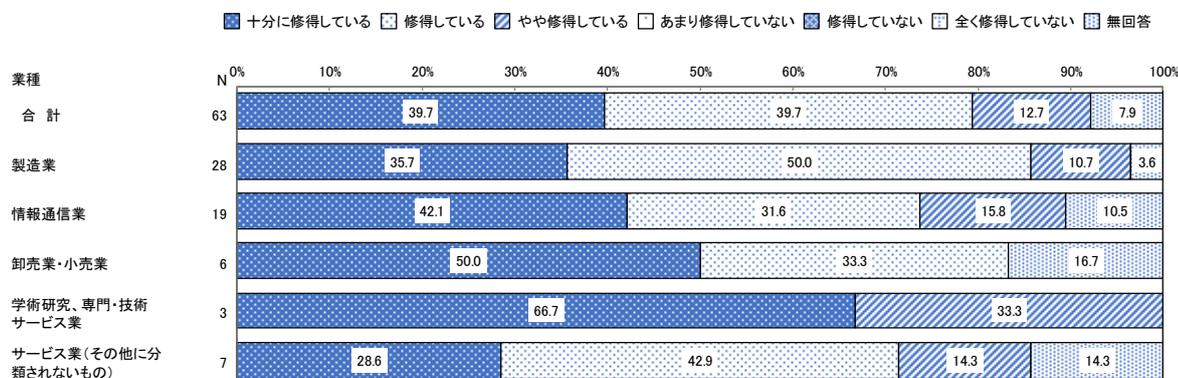
教育目標について

本学では先端科学技術の豊かな専門性とともに、持続可能な社会において求められる幅広い視野や高い自主性やコミュニケーション能力を持つ、社会や産業界のリーダーとして活躍できる高度科学技術イノベーション人材を育成することを教育目標としています。過去5年間に採用した北陸先端科学技術大学院大学修了者は、これらの能力についてのどの程度修得していると思われますか。以下の項目に当てはまるものにレ点をつけてください。なお、以下に記載する能力は本学の学位授与ポリシーとして掲げている能力です。

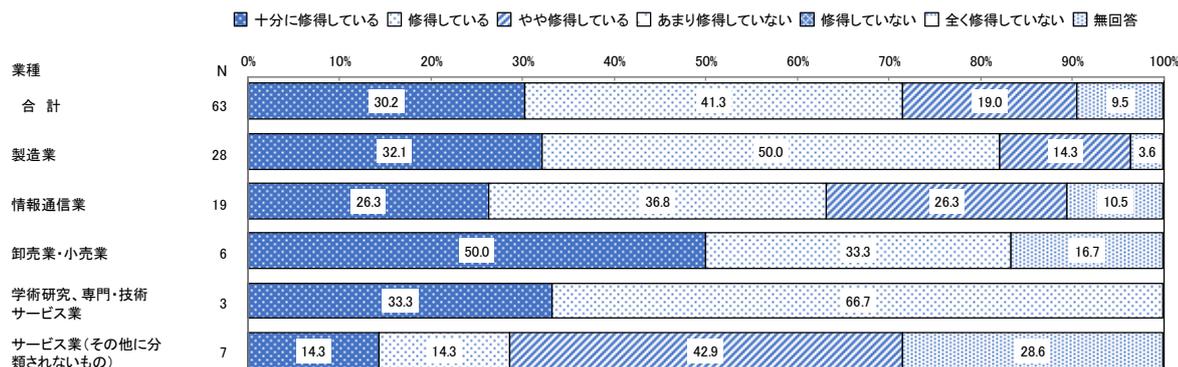
博士前期課程において修得すべき能力



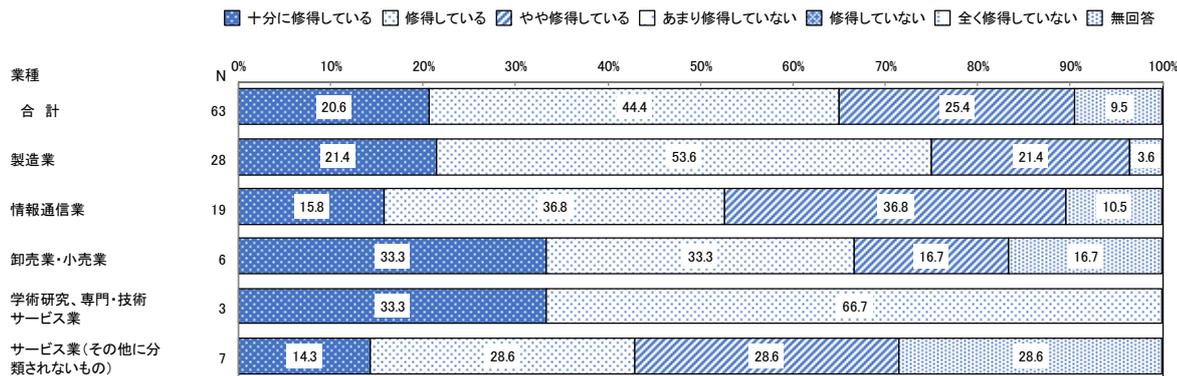
(1 専門分野における先端科学技術の基礎概念を理解する能力)



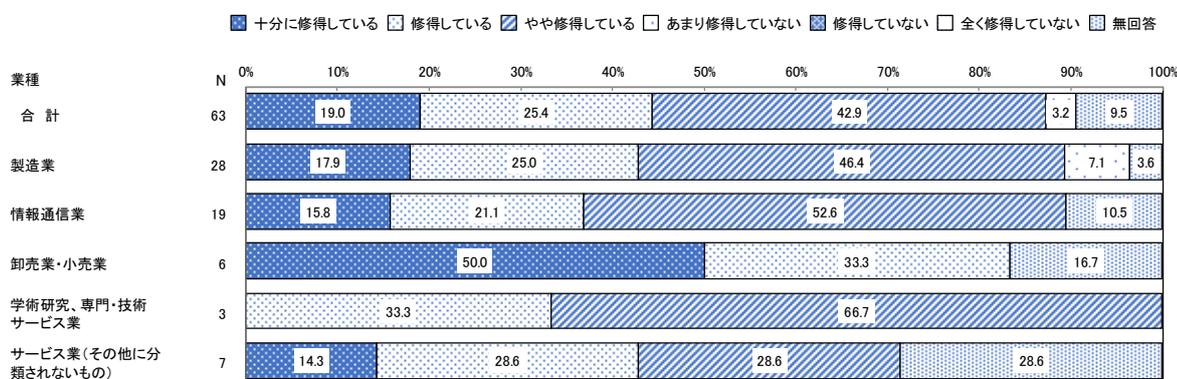
(2 専門知識を応用して問題発見や問題解決できる能力)



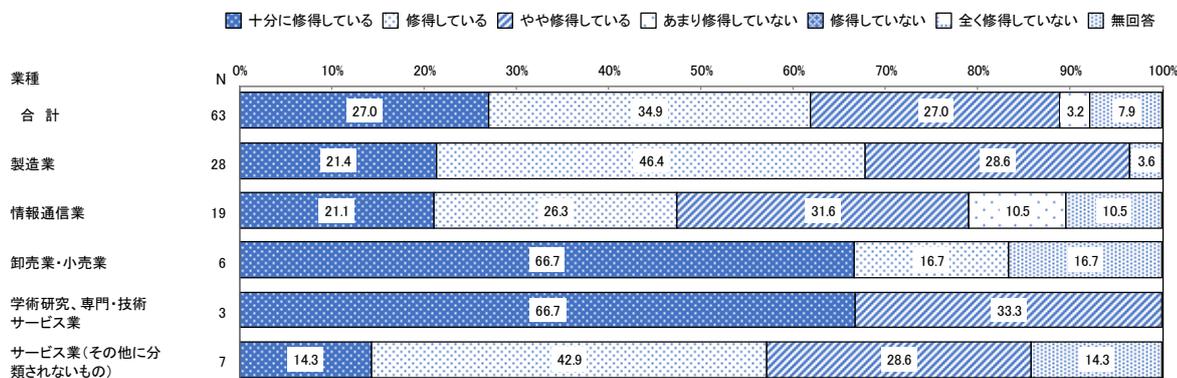
(3 学術的、社会的に価値ある研究を主体的に遂行できる能力)



(4 専門とは異なる分野や未踏分野に挑戦できる能力)



(5 多様な文化に対する理解力、コミュニケーション能力)



(6 研究者、技術者としての高い倫理観)

